

令和4年5月1日



5月 むらさめだより

村雨こども園  
村雨こども園愛分園  
村雨こども園なぎさ分園

ぽかぽかとした陽ざしとやわらかな風が、心地良い季節となりました。

新年度が始まって早々に、今までにない強い感染力で新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）が急激に発症し、多数のクラスが登園自粛となり、お仕事やお子さんの慣らし保育などご心配をおかけしたことと思います。今回も保護者の皆様のご理解ご協力で感染が治まりました。本当にありがとうございました。

子ども達は、新年度から1か月余りが過ぎ、新しい環境にもだいぶ慣れ通常の保育が行えております。

5月は、戸外で過ごすことがとても気持ちのよい季節です。戸外でお友達と十分に体を動かして遊び、暑さに負けない健康な体を夏に向けてつくっていききたいと思えます。

また、気温が上がり体も疲れやすくなります。熱中症等、日頃の体調管理をご家庭の皆さんと一緒に行っていききたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症ですが、オミクロン株は弱毒化されてきているように言われておりますが、現在も「新型インフルエンザ等感染症」という分類を維持しつつ社会は、感染対策を守りながら柔軟な行動様式に変わろうとしています。

未だ、変幻自在なウイルスですので、「5類感染症」（季節性インフルエンザ）にするには懸念も多々あると思えます。

こども園は、子ども達が集団で遊び・生活する場です。

朝のお子さんの「健康観察」は継続して登園をして下さい。また、ご家庭で体調不良の方がおられる場合も、できる限り家庭で過ごして頂きますようお願い致します。

園内においても感染が広がらないように気をつけ、子ども達を守っていききたいと思えます。

見通せない新型コロナウイルスとの戦いは続きます。今後とも感染防止対策に、ご理解ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



## 令和4年度 教育・保育方針・目標



幼保連携型認定こども園 村雨こども園

本園は、基本的な生活習慣や子どもの心情、意欲、態度などを柱に、子どもの主体的な生活、遊びを中心に教育保育を行っています。

「子ども一人一人の思いや考えを大切に」「一人一人が自分の好きなこと、やってみたいこと（興味関心のあること）を見つけ出し」「時には一人でじっくり考え試行錯誤し」「時には友達と遊びを共有したり、対話したり」しながら自分らしさを表現し、思いっきり遊べる子どもであってほしいとの思いで、村雨こども園の子ども像を目標に掲げております。

園での毎日の生活、遊びの過程で体験した活動から様々な学びを子どもは得ています。その遊びの中で「認知的能力」と今、特に求められている「非認知的能力」を高められるように、遊び内容や環境、関わり方などを考えていきたいと思っております。

最近、人とのコミュニケーションに求められる「ともに生きる力」が軽視されているようにも感じます。人として生きていく人間形成の基礎が培われる大切な時期です。子ども達が、「これからの未来をたくましく生きるための力」を培い、人生を豊かに過ごしていくことができるように、より良い環境の中で、多様な体験ができるように取り組んでいきます。

それには、ご家庭と連携して共に育てていくことがとても大事になってきます。

子どもの成長を一緒に喜び合うことができるように過ごしていけたらと思っております。引き続き、ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

### 教育・保育目標（むらさめのこども像）

- ◎いきいきと元気にあそぶ子ども
- ◎こころのやさしい思いやりのある子ども
- ◎自分の思いを素直に表現できる子ども



### 教育・保育の基本方針

- ・一人一人の子どもの気持ちを十分に受け止め、丁寧な関わりと成長過程を大切に  
した教育・保育内容の充実に努めます。
- ・子どもたちが、健康で安全に過ごせる環境や生活の中で意欲的に活動し、自主的に遊び・生活することができる環境を整えます。
- ・家庭での子育てへの思い、考えを十分認め合い、お互いの理解の上で信頼関係を築き、連携を取りながら力を合わせ、共に育てていく姿勢を大切にして、子どものよりよい成長につないでいきます。
- ・職員のチームワーク・連携を密にし、全ての職員が一人一人の子どもを見守り把握に努め、より質の高い教育・保育の内容を実践します。



16日(月)	英語で遊ぼう
16日(月)～20日(金)	発育測定
18日(水)	保育参加 (0・2・4歳児・愛分園)
19日(木)	保育参加 (1・3・5歳児)
23日(月)	英語で遊ぼう
24日(火)	誕生日会
25日(水)	避難訓練
30日(月)	英語で遊ぼう



## らっこぐみ

絵本を読んでもらうことに興味を持ち始めたらっこ組のお友だち。保育教諭の膝の上に座り、絵本を見ています。

特に、『まるてんいろてん』の絵本では、色々な色や丸の形を目で追ってじっと見て、泣いていたお友だちも泣き止み、喜んでいます。

これからもたくさんの絵本に触れ、過ごしていきたいと思います。



## かめぐみ

音の鳴る玩具がとても大好きです。ビーズの入ったマスカラを両手で持ち楽しそうに振って音を鳴らしています。また、ボールも好きで転がすと目で追ったりずりばいやはいはいで追いかけて楽しんでいます。

今度は『もこもこもこ』の絵本を読みたいです。

「もこ」や「ぱく」、「ぱちん」など簡単な擬音語がたくさん出てきます。

「ぱく」では、食べる動き、「ぱちん」では、手を叩く動きなども一緒に楽しんできていきたいです。



## ぺんぎんぐみ



だるまさんシリーズの絵本がとてもお気に入りです。

『だるまさんが』では絵本の中のだるまさんと同じように身体を左右に揺らしたり、『だるまさんの』では目や髪の毛を触りながら「めー」「けー」と言って楽しんでします。

絵本を読む楽しさを通して、子どもたちの発語に繋げていきたいと思います。

## かにぐみ

歌やリズムのある絵本が大好きなかに組のお友だち。

特に『あっぷっぷ』の絵本がお気に入りです。だるまさんやおさるさん、ぶたさん…と様々な動物とにらめっこするお話です。子どもたちも一緒にリズムに合わせて身体を揺らしたり、変顔の真似をして楽しんでます。そして、にらめっこした後はにこにこ笑顔も見せてくれますよ。

一緒に絵本を楽しんでいきたいと思います。



## あしかぐみ



あしか組のお友だちは、『ノンタンボールまてまてまて』の絵本がお気に入りです。この絵本は、転がるボールをノンタンが追いかけたり、隠れている赤いボールを探す絵本です。保育教諭と一緒に探し、「あった！」と言いながら指をさしたり、ボールの色に反応をして楽しみながら見えています。

これからも一緒に絵本を見て、お話をして、楽しんでいきたいと思います。

## あざらしぐみ

『ピン・ポン・バス』の絵本が大好きなあざらし組のお友だち。

この絵本では、いろんな場所でお客さんが乗ってきます。降りる時にお客さんがピンポンと鳴らすと子どもたちも一緒に「ピンポン」と言って楽しんでます。

これからも季節の絵本や子どもたちの好きな絵本を読みながら子どもたちと言葉のやりとりを楽しんでいきたいと思います。





## ばんどういるかぐみ



暖かくなり、園庭でだんご虫探しに夢中な子どもたち。  
『ころちゃんはだんごむし』という絵本がお気に入りです。  
迷子になってしまったダンゴムシのころちゃんが、みんなを探しに行くお話です。  
探しに行く途中で、カマキリや蝉、モグラなどたくさんの虫や生き物たちが  
出てくるのでみんな興味津々です。  
お友だちと「バツたいた!」「見たことある!」など、知っている虫の名前を  
言いながら楽しく見えていますよ。  
これからも、たくさんの絵本に触れていきながら子どもたちの興味を広げて  
いきたいと思っています。

## しろいるかぐみ

『くれよんのくろくん』が大好きで、先生に読んでもらったりお友だちと  
一緒に見て楽しんでます。クロくんが画用紙を真っ黒に塗りつぶした後の  
最後のひっかき絵のシーンでは大喜びの子どもたち。  
クレヨンたちが描く絵を指さして話したり、「クレヨンしたいー!」と  
子ども達も絵を描くことを楽しみにしています。  
これからも絵本を読むことを通して、子どもたちが色々な感性を  
身につけられるようにしていきたいです。



## まっこうくじらぐみ



『どろぼうがっこう』  
この絵本に出てくるのは、世にも名高い「くまさかとらえもん」先生と  
可愛い生徒たち。山の村はずれにあるおかしなどろぼうがっこうのお話です。  
先生と生徒たちのやりとりやおかしな返事に子どもたちは、いつも笑いながら  
見えています。少し長いお話ですが、とても集中して最後の展開に「どうなるん?」  
と楽しみながら見えています。  
お話の世界に想像をふらませ、楽しむ子どもたちとこれからも色んな物語の世界に  
入り込んでいきたいと思っています。

## みんくくじらぐみ

『からすのパン屋さん』

くじら組になり、長いお話も集中して聞くことができるようになってきました。この絵本は、いずみがもりにあるからすのパン屋さんのお話です。4羽の赤ちゃんが生まれたことで、忙しくなりだんだん貧乏になってしまいます。しかし、子どもたちの意見を聞いて作ったあるパンをきっかけに、森中のからすが買いに来るお店になります。絵本に出てくるたくさんのパンに子どもたちは、「うわあ！」と目を輝かせながら「このパン食べたい」や「このパン見たことあるよ」など、とても楽しそうに見ています。



## かもめ1くみ

かもめ1組のお友だちは、「さんまのおふだ」という絵本を何度も繰り返し読んでいます。この絵本は、お寺の小僧さんが山に栗拾いに出かけたところ、日が暮れてしまい声をかけてくれた女の人の家に泊まらせてもらうこととなります。しかしその女の人の正体がやまんばだったため、必死に逃げる小僧さんとやまんばのやりとりに、子どもたちは「やまんば怖いな」と言いながら小僧さんが無事逃げられるかドキドキしながら見えています。

絵本を通して、言葉の面白さや登場人物の気持ちを考えながら楽しく読んでいきたいと思います。

## かもめ2くみ

ひらがなに興味を持ち、絵本に書いてある文字を声に出して読んだり、友だちと一緒に見たりしています。紙芝居を見ることも好きで、最近では昔話の『ちからたろう』を気に入っています。主人公のちからたろうの旅の道中で出会う、日本一を名乗る刀持ちたちとの勝負をわくわくしながら見えています。また、ばけものと戦う場面では「どっちが勝つかな」と言いながら真剣に紙芝居を見えています。

絵本や紙芝居を通して沢山の物語に触れ、楽しんでいきたいと思っています。

